

# 株主通信 第19期 報告書

平成29年10月1日から平成30年9月30日まで

## 株主の皆様へ



代表取締役社長執行役員

谷野 幸明

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第19期の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

福島原発事故から早や7年が経過し、再稼働近しとされてきた原発は、北海道の泊原発を除きすべて運転が再開されました。これによりこれまで当社収益の中核となっていた原発定期検査工事も、第21期（2020年9月期）には5原発7基で売上を見込む状況となりました。

しかし全体としての収益水準は事故以前の状態には依然程遠く、まずは従前レベルまでの業容回復を目指し、収益拡大施策を積極的に推進しておりますが、ここ数年はもうひとつの柱である、火力発電所を取り巻く事業環境にも厳しさが増してきており、電力向け高温高圧バルブを主要商品とする当社にとってはなお、試練の状況が続いております。

こういった状況下、既にご案内のとおり、第19期の決算は前期に比して大幅な増益となりました。ベースの収益性では前述のような背景もあって前期と大差はないものの、受注損失引当金と仕掛品増減の影響でこのような好決算となりました。受注損失引当金は当社を取り巻く経営環境の厳しさを如実に表していると同時に決算に重大な影響を与えることから、発生から解消までを経営会議で綿密に管理しております。しかし株主の皆様からすれば非常にわかり難いものであることも事実ですので、しっかりと説明責任を果たしていきたいと考えております。

このようにバルブ事業が依然厳しい環境にある中、今後、復活のキーワードは「原発廃止措置」と「キッツ社との連携」にあると考えております。

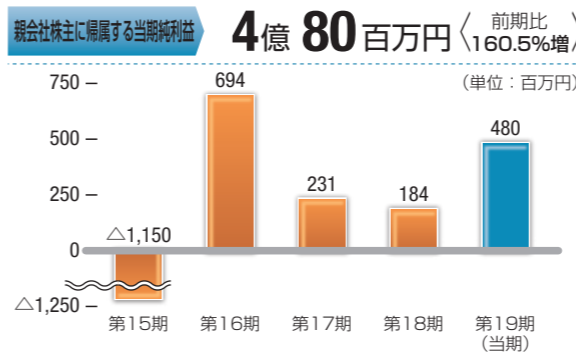
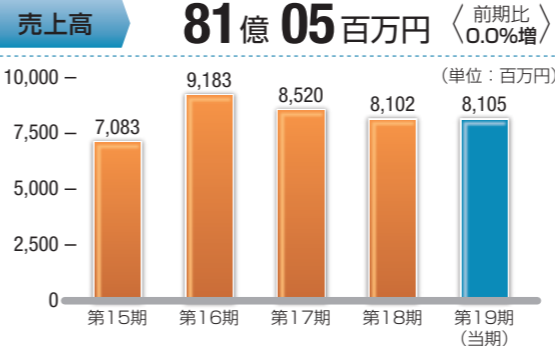
ご承知のとおり国内の原発は、今後相次いで廃止が予定されております。当社グループでは現在、被災地である福島地区での除染・復興作業のお手伝いをさせていただいておりますが、今後は福島地区のみならず、他所での原発廃止を含め、当社が長年携わってきた原発での経験を活かし、何か少しでもお役に立てればと考えております。

またキッツ社との資本業務提携から2年半を経過し、まだまだ少額ながら徐々に収益面での実績が見え始めてきました。これは営業協力の成果ですが、今後は生産・技術協力からコストダウン弁の開発・生産と市場投入を進めることで、海外市場への攻勢を強めていきたいと考えております。

今後とも、中期経営計画を達成し企業価値の向上を図ることで、株主の皆様のご期待に添えるよう役員・従業員一同が力を合わせ全力で努めてまいります。株主の皆様におかれましては何卒、引き続き変わらぬご指導を賜りたく心よりお願い申し上げます。

平成30年12月

## 財務ハイライト (連結)



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**配当について**  
第19期の配当につきましては、1株当たり年間35円(期末20円)とさせていただきます。

**1株当たり 20円**

詳細な財務情報は、当社ホームページをご覧ください▶▶

<http://www.toavalve.co.jp/>

## 株主総会決議ご通知に関するお知らせ

第19回定時株主総会の決議結果につきましては、当社ホームページ (<http://www.toavalve.co.jp/>) での開示をもちまして決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

## 株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで  
期末配当金 9月30日  
受領株主確定日  
中間配当金 3月31日  
受領株主確定日  
定時株主総会 毎年12月  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本店でお支払いいたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部  
公告の方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL <http://www.toavalve.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

## TVEの チャレンジ

### 海外事業拡大へ ～キッツ社との連携で挑む～

当社グループが主力とする国内電力市場においては原子力発電所の再稼働が始まるとともに、火力発電においても火力発電技術高度化によるガス複合発電や再生可能エネルギーとして注目されるバイオマス発電の建設も始まり、市場にも徐々に明るさが出てきています。しかしながら中長期的な展望では再生可能エネルギー比率が高まっていくと想定され、原子力・火力は一定程度維持するも決して拡大する方向ではありません。

そのこともあり、当社はアジア市場へ注力していきます。特に東南アジアへは過去、火力発電プラントおよび石油精製・石油化学プラントへ数万台の納入実績がありますので、既存顧客を中心に再アプローチ、需要の掘り起こしを行います。さらに、当社グループの海外拠点であるシンガポールを中心に、海外に強固なネットワークを有するキッツ社との海外販売における連携を強化していきます。また、国内外のプラント会社の海外案件を積極的に獲得していきます。

今期の海外大型物件としてはすでに、インドネシアのセントラルジャワ火力発電所および韓国のハンファタル・デサン石油化学プラントに計326台のバルブを受注納入し、売上は計5億円強となりました。今後はキッツ社との連携により、海外石油化学プラント等についても獲得を強化していきます。

こういった活動により、海外においても当社グループの成功ビジネスモデルであるバルブの設計・製造－販売－メンテナンスのValve Life Cycle Managementの実現を目指していきます。

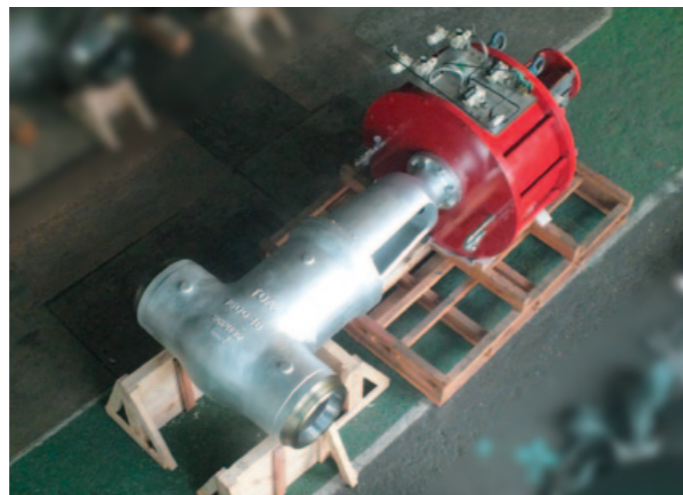
また、当社事業拡大におけるキッツ社との連携の成果は着実に拡大しており、販売面においてはいち早く国内バイ

オマス発電および海外石油化学プラント案件において数物件協業受注を実現しました。今後は共同開発によるグローバルモデルの市場投入も計画しています。

グローバルモデルの特徴は、キッツ社と当社グループ、それぞれの主な取引先である石油精製・石油化学市場や電力プラント市場の両方に利用できるバルブです。海外市場の厳しい価格競争を勝ち抜くために費用を抑えることはもちろんのこと、このグローバルモデルのような新たな製品開発にもチャレンジしてまいります。

メンテナンス分野におきましても、キッツエンジニアリングサービス社と連携し、相互の得意分野を活かし、これまでにない幅を広げたサービスを開始しています。

当社は2022年に100周年を迎えます。それに向けてパワーアップしていく東亜バルブエンジニアリングにぜひ、ご期待ください。



ヤシ殻を燃料とするバイオマス発電所に納入した当社バルブ

## NEWS ニュース

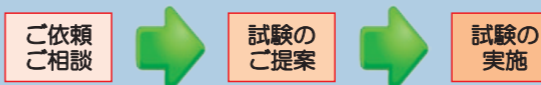
### 新サービス「TVEテストラボ」



「高温・高圧領域の試験を行いたいが、試験を行う施設がない。」とお困りの企業・研究機関の皆様のニーズにお応えし、当社が受託試験を代行する「TVEテストラボ」を提案・実施いたします。

当社が保有する国内有数の高圧試験機・ボイラー試験機では、発電所やプラントで用いる高温・高圧用バルブが設置される環境に近い状態で、各種バルブの蒸気・耐圧・流量試験を行うことが可能になります。

今後は、「TVEテストラボ」の周知を図り、新たなビジネス展開に繋げてまいります。



#### 当社工場設備を使った試験業務のご提案

蒸気  
試験

耐圧  
試験

その他  
試験

## 会社の概況 (平成30年9月30日現在)

商号 東亜バルブエンジニアリング株式会社  
英文 Toa Valve Engineering Inc.  
証券コード 6466  
所在地 〒660-0054  
兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号  
設立日 平成12年3月16日  
資本金 17億3,955万9,810円  
事業内容 各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、  
各種バルブのメンテナンス業務、除染及び廃炉関係  
従業員 302名(連結320名)

#### ■役員 (平成30年12月21日現在)

監査等委員以外の取締役		監査等委員である取締役	
代表取締役	笹野 幸明	取締役	平野 重充
取締役	有松 清高	取締役(社外)	浜本 光浩
取締役	飯田 明彦	取締役(社外)	生川友佳子
取締役	角谷 正昭		
取締役	氏野 正		
取締役	三宅 利幸		
取締役(社外)	後藤 基		

## 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数……………10,040,000株  
発行済株式の総数……………2,678,600株  
株主数……………1,639名

#### ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社キッツ	302,200	13.29
西華産業株式会社	203,200	8.93
INTERACTIVE BROKERS LLC	127,442	5.60
TOA取引先持株会	93,100	4.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	92,900	4.08
DEUTSCHE BANK AG LONDON GPF CLIENT OMNI-FULL TAX 613	76,200	3.35
株式会社三菱UFJ銀行	68,000	2.99
前島崇志	58,000	2.55
トウアバルブグループ従業員持株会	41,642	1.83
DAIWA CM SINGAPORE LTD (TRUST A/C)	41,500	1.82

※当社は自己株式403,994株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。